べっぷ市議会だより

No.184
2026.11.1

世界に誇る温泉資源を最大限に生かし、市民サービスの向上へと還元していくための持続可能なまちづくりを



CONTENTS

P.2 主な議案の概要
P.4 議決結果
P.5 常任委員会審査　ほか
P.6 予算決算特別委員会　意見書
P.7~14 一般質問（15人が市政を問う）
P.15 各常任委員会行政視察
P.16 主権者教育企画　議員の活動報告　ほか

TOPIC

各常任委員会
行政視察内容

主権者教育企画を
実施しました！

別府市議会HPはこちら

令和8年 第3回定例会で 37件の議案を可決！

9月3日から9月29日までの27日間にわたり開催された今定例会では、予算関係6件、条例関係4件、その他18件の議案が上程されました。また、定例会最終日には市長より追加議案として、人事案件6件、さらに議会より、議員提出議案2件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、地域の防犯力向上のために、見守りカメラ設置を支援する経費、市道の舗装、側溝の老朽箇所を早期に改修する経費、指定避難所の非常用電源確保のための経費に関する補正予算等の説明がありました。関連議案については、議案質疑で、決算関係議案については、予算決算特別委員会で活発な議論が行われました。

採決においては、5件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示がありましたが、いずれも賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

主な議案の概要

議第85号　土地の売払いについて

3億7,819万円　●地積　15,030.5㎡

※1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

概要　旧別府商業高等学校グラウンドを売払いすることについて、議会の議決を求めるもの。



旧別府商業高校グラウンドの現在の様子

議員からの質疑

■ 旧別府商業高等学校閉校後、跡地利活用がどのように検討され現在に至っているのか、また貸付から今回売却という判断に至った背景は。

■ 旧別府商業高等学校は、平成29年3月末の閉校後、庁内関係各課で利活用を検討し、「スポーツ目的の普通財産として公募により中長期的に貸付を行うこと」とし、学校法人別府大学へ貸し付けてきました。令和7年11月に同法人から教育環境充実のための施設整備に向けた買い受けの申し出があり、本件土地を活用して教育活動を継続している同法人に売却することが別府市の教育振興に寄与すると判断しました。

■ 今回の土地の売却については一般競争入札ではなく、同法人との随意契約によって進めるということだが、その理由は。

■ 同法人は、保育園から大学院まで有する総合的な教育機関で、長年にわたって本市の教育の一翼を担っており、現在本件土地は明豊キャンパスと一体不分の利用がなされています。本件土地の周辺には、旧別府商業高等学校を母体の一つとする大分県立別府翔青高等学校他教育機関や、別府市役所、こもれびパークなどがあり公共性の高いエリアです。これらの事情を総合的に考慮した時、同法人を相手方とする売買契約を締結することが本件土地売買契約の目的を究極的に達成する上で妥当であり本市の教育の振興に寄与すると判断しました。

主な議案の概要

議第71号　令和8年度別府市一般会計補正予算（第3号）について

防犯・暴力絶滅対策に要する経費
補正額　5,202万円
※1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

概要　地域の防犯力の向上を図るため、自治会等に対し見守りカメラ設置に伴う支援を行います。


市内に設置されている見守りカメラ

議員からの質疑

■ 今回の見守りカメラ導入の経緯や費用、管理体制について伺う。

■ 令和6年度に62台の見守りカメラを設置しましたが、今回、自治会からの追加の要望に基づき、85台を新たに設置予定です。費用については、1台あたり約61万円（設置費用、メンテナンス費用等込）で、電気代は年間9,000円の自治会負担、修繕費は市が負担します。データは市が管理し、警察の捜査協力に活用します。

■ 設置場所の選定基準は？

■ 自治会からの要望に基づき現地調査を行い、警察と協議の上で効果的な場所に設置します。

■ 見守りカメラの設置による犯罪抑止効果の検証方法についてはどのように考えているか。

■ 見守りカメラ設置により、市民の皆様方に安全で安心した生活を送っていただきたい。警察の犯罪認知件数や検挙状況等を通じて、事業の効果を把握していく考えです。

議第71号　令和8年度別府市一般会計補正予算（第3号）について

旧平尾邸管理運営に要する経費
補正額　2,937万円
※1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

概要　物価高騰や中東情勢による建築資材の大幅な価格高騰に伴い、施設整備等負担金を増額します。


旧平尾邸（洋館）改修工事の様子

議員からの質疑

■ 今回の補正予算については、中東情勢などを背景とした建築資材の価格上昇によって負担金の増額が必要になったということだが、今回のような外的な要因による資材価格の変動は今後も起こりうるものだと考える。そうした中で今回増額した後もさらに資材価格が上昇した場合などには再び負担金の増額が必要になる可能性もあるのではないか。市としては今後の情勢や資材価格の変動をどのように捉えているのか、また今回の補正予算で対応した後にさらに追加の増額を求められるのではないか、その点について伺う。

■ 本補正予算については、早期に資材確保の予算手当てを行うことで施工事業者が円滑に建築資材の手配を進めることができる環境を整えようとするものです。今後の情勢の変化についても、定期的な工程会議などを通じて建築資材の早期調達や価格動向を常に把握共有し、さらなる負担額の増加がないよう、工程管理、予算管理を徹底し、工期内完成を目指しています。

議案質疑の詳細はHPにて掲載しています

第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件　　名	議決結果
議第71号	令和8年度別府市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
議第72号	令和8年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議第73号	令和8年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	
議第74号	令和8年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議第75号	令和8年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議第76号	令和8年度別府市競輪事業会計補正予算（第1号）	
議第77号	別府市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	
議第78号	別府市ものづくり支援等複合施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第79号	別府市市民ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
議第80号	別府市景観条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議第81号	工事請負契約の締結について	
議第82号	工事請負契約の締結について	
議第83号	工事請負契約の締結について	
議第84号	工事請負契約の締結について	
議第85号	土地の売払いについて	
議第86号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて	
議第87号	新たに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	
議第88号	住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	
議第89号	議決事項の変更について	

議案等番号	件　　名	議決結果
議第90号	令和7年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
議第91号	令和7年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
議第92号	令和7年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第93号	令和7年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
議第94号	令和7年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）
議第95号	令和7年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
議第96号	令和7年度別府市水道事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
議第97号	令和7年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について	
議第98号	令和7年度別府市競輪事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定（全会一致）
議第99号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意（全会一致）
議第100号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第101号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第102号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第103号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第104号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議員提出議案第5号	非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決（全会一致）
議員提出議案第6号	地方財政の充実・強化に関する意見書	
	議員派遣の件	原案可決（全会一致）

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件　名	議決結果	会派・議員名																								
			自民新政会									公明党				市民クラブ			創世会		弱い立場の人に政治の光を	新たな別府を創る会	日本共産党	ビーワンべっぷ	創る未来の会	日本維新の会	有志の会
			9人									4人				3人			2人		1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
			山本一成	松川峰生	松川章三	吉冨英三郎	小野正明	安部一郎	阿部真一	日名子敦子	谷口和美	市原隆生	穴井宏二	小野佳子	重松康宏	加藤信康	森山義治	三重忠昭	野口哲男	黒木愛一郎	泉武弘	森大輔	美馬恭子	森裕二	中村悟	石田強	塩手悠太
議第79号	別府市市民ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決（多数）	○	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議第90号	令和7年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（多数）	○	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
議第91号	令和7年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（多数）	○	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議第94号	令和7年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（多数）	○	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議第95号	令和7年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（多数）	○	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」、議長は「／」（採決に加わらない為）、法律により採決に加われない議案は「除」

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

総務企画消防委員会

「議第７１号」行政委員会総合事務局関係部分では、大分県知事・県議会議員選挙執行に要する経費２７０万５,０００円について、投票所の状況に合わせ、「投票所スロープ製作等委託」、「介護用備品等の購入」、「介護用スロープ等の借上」などを実施するものとの説明がありました。委員より、スロープの設置数について質疑があり、当局よりバリアがある箇所は31か所あり、そのうちスロープの設置などの対応でバリアを解消するのは25か所であり、残りの6か所については、立地条件などにより完全なバリアの解消が難しいため、バリアを軽減するための措置を実施していきたいとの答弁がありました。

観光建設水道委員会

旧平尾邸の改修工事について、物価高騰や中東情勢による建設資材価格の大幅な上昇により、現行予算内での施工継続が困難となったため、令和９年３月の工事完了と令和９年度の施設オープンに向け、増額補正を行うとの説明がありました。委員からは、増額の必要性に一定の理解を示す一方、今後の追加的な財政負担を懸念する意見もありました。これに対し、当局からは、資材発注に際し関係課で十分に精査するとの答弁がありました。さらに委員から、契約見直しでは、新たな増額が生じないよう、契約検査課も含め十分協議するよう意見がありました。

厚生環境教育委員会

「議第71号」の予算議案について、子育て支援課関係部分では、国の要綱改正に伴う放課後児童クラブへの事業委託料の増額と、障がい児受入強化加算を受けるクラブ数の確定に伴う委託料の増額の計上及び、放課後児童クラブにおける性被害防止対策のための経費について国の補助メニューの変更に合わせた財源補正を行う旨の説明がありました。委員から、性被害防止対策の内容についての質疑があり、当局から、フェンスや防犯カメラ等の設置を予定しているとの答弁がありました。

令和8年 第4回市議会 定例会会期日程（予定）

12月

日	月	火	水	木	金	土
11/29、	11/30	1 議案上程、提案理由説明	2	3	4 議案質疑、委員会付託	5
6	7 委員会審査（常任委員会）	8 一般質問	9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問（予備日）	12
13	14	15 各委員会委員長報告、討論、表決	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1	1/2



別府市議会では、ケーブルテレビによる本会議の生中継とYouTubeなどによる本会議の放送を行っています。

放送日時 本会議開催日（午前10時から）

放送内容 議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア

- ケーブルテレビでの中継
  CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。
- インターネットでの中継 →
  別府市議会 インターネット中継
  ※全日程終了後、おおむね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。
- 公式YouTubeチャンネル
  YouTube

※議会中継は公式記録ではありません。
公式記録は本会議後に調製する会議録となります。

令和8年 予算決算特別委員会（令和7年度決算認定審査） 意見書

予算審査と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。



長野市長に意見書を提出する森山委員長、小野議長

1 財政状況の健全化について

令和7年度の経常収支比率が98 .1%と高止まりしている。４００億円を超える地方債残高が将来の財政を圧迫しないよう、国庫補助金、地方債等の有利な制度を活用して市の負担を抑えるとともに、長期金利が上昇する中、起債を伴う事業については必要最小限にとどめ、適正な公債費管理に努めること。

また、金利上昇を活用した積極的な基金運用等による金融対策を行うことを求める。

2 市税の増収に対する政策について

市税収入は、個人市民税や固定資産税の大幅な増収により、市税全体で前年度比5.8%増となっている。一方で、法人市民税は設備投資等により減少しているものの、法人数は増加していることから地域経済の基盤として良好な兆候ととらえている。

今後は、投資した法人が地域に定着し地域の活性化に結びつくよう、将来的に税収増に繋げるための政策の推進を求める。

3 公共施設ファシリティマネジメントの推進について

平成２８年度に策定された公共施設再編計画では、管理コスト削減目標を30年間で30%とされているが、延床面積の1.8%の削減に留まっている。年度ごとの削減目標を立てるなど具体的な対象施設を明記した実行ロードマップの速やかな再構築を要望する。

また、指定管理者制度導入施設については、維持管理体制の強化が図られていることは評価できる。今後も引き続き民間事業の持つ専門的なノウハウを活用し市民サービスの向上と経費削減に努めること。

4 「DX化」の推進について

生成AIやRPAの導入など、DX化の推進により職員の業務時間の削減が図られたことは評価できる。

しかしながら、削減された時間を単なる業務負担の軽減で終わらせず、窓口業務の縮小や更なる市民の利便性の向上など、適正な人員配置により人件費の抑制に繋がるよう努めること。

5 医療的ケア児支援事業の充実について

医療的ケアを必要とする子どもたちが、障がいの有無にかかわらず、健やかに成長できる環境を整えることは、安心して子育てができる社会の実現にとって必要不可欠である。

医療的ケア児への切れ目のない支援体制が構築されているが、今後はそれらの事業を一体的に捉え、子どもたちやその家族が安心して、必要な医療的ケアを継続的かつ安定的に受けられるよう支援体制の維持および充実に努めること。

6 特定健康診査受診率の向上について

特定健康診査の受診は、生活習慣病の早期発見・早期治療につながるために必要な検査であるが受診率は５０%以下と低迷している。受診率向上のため、広報などによる啓発活動を強化すること。

7 競輪事業について

競輪事業における車券発売収益は、過去最高の約４６１億円を記録し、令和7年度決算の純利益は、前年度比18.51%増の約21億円、また、一般会計への繰出金は6.3億円と極めて好調である。

一方で、新しく開設した競輪投票ポータルサイト「ラブリン」については、各競輪場との契約事務等の諸事情により運用開始が遅れたことに伴い、会員数及び売上見込額が当初の目標値を下回っているものと認識される。

当事業は、国内初となる施行者が運営する事業であることを鑑み、中長期的な競輪事業全体の戦略（計画）のもとデータ分析や検証を行い、さらなる市民福祉の向上及び公益の増進に寄与するよう企業努力と成果達成を求める。

最後に、各事務事業を行うにあたっては、最少の経費で最大の効果が得られるよう事業内容の精査・費用対効果の検証を十分に行い、本意見書及び委員会での意見を令和9年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、予算審査と決算審査の循環性を図るため、令和9年（令和8年度決算認定審査）予算決算特別委員会において、その取組についての回答を求める。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。９月議会では15人の議員が市当局の見解をただしました。

各議員の下部のQRより本会議等の映像をご覧いただけます



9月17日(木)

穴井　宏二　議員……P.7
石田　　強　議員……P.8
松川　峰生　議員……P.8
日名子敦子　議員……P.9
泉　　武弘　議員……P.9

9月18日(金)

美馬　恭子　議員……P.10
阿部　真一　議員……P.10
中村　　悟　議員……P.11
重松　康宏　議員……P.11
小野　佳子　議員……P.12

9月24日(木)

森　　裕二　議員……P.12
塩手　悠太　議員……P.13
吉冨英三郎　議員……P.13
森山　義治　議員……P.14
谷口　和美　議員……P.14

公明党

穴井（あない） 宏二（こうじ） 議員



HPVワクチンの女性・男性への接種

問 HPVワクチンについては現在、女性への接種は国の助成対象である定期接種となっているが男性への接種は助成対象外の任意接種で全額自己負担となっている。宮崎市では令和7年4月から男子のHPVワクチンの接種に対して接種費用の全額助成を行っている。聞き取りをしたところ高一女子の接種率は65%を超えており全国一位である。厚生労働省においても「重大な副作用はない、世界中で17年以上のデータが蓄積されており1億人以上が接種されており安全性は国際的に確認されており、女子の子宮頸がんリスクは80%減少、前がん病変は74%減少」とのデータがある。接種機会の平等・平準化の観点からも別府市においても独自助成を導入していただきたいと思うが見解をお聞きしたい。

答 HPVワクチンの男性への接種につきましては、HPV（ヒトパピローマウイルス）による喉のがんや肛門がんなどへの予防効果が期待されます。現在、厚生労働省において「予防する対象疾病・接種の安全性」などのエビデンスを検討しており、先行自治体の導入効果も注視しながら、本市の独自助成について来年度の予算編成に反映できるよう検討してまいります。



HPVワクチン　9価HPV【シルガード9】

他にはこんな質問をしました

- 腎臓病患者の方への支援と今後について
- 遠隔診療、MaaSについて
- 観光バリアフリーについて
- ごみ収集とごみ袋について

詳しくは↓

日本維新の会
石田（いしだ）　強（つよし）　議員



道後温泉から学ぶ、別府温泉の稼ぎ方について

問 市営温泉の経営について、入浴料だけでなく、飲食、物販、休憩、体験などを含めた「利用者一人当たりの消費額」を増やす視点が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 市営温泉は市民の日常利用が多く、地域コミュニティの場であり、利用者の日常生活の一部にもなっています。他市とは性格が異なる側面も踏まえ、管理運営する必要があります。収益だけでなく、市民や地域にとっての存在意義や文化を損なわない施設運営に取り組みます。

問 別府には竹瓦温泉という歴史的建築物がある。現在、観光客は基本的に入浴後、施設を出ていくが、竹瓦温泉の2階などを活用し、湯上がりに浴衣で休憩できる有料スペースを設けるなど、滞在そのものを商品化できないか伺う。

答 竹瓦温泉の2階は現在、町内公民館として地元自治会が利用しています。様々な活用により、歴史的建築物の価値に多くの方が触れる機会となることは理解しています。今年度、歴史的建築物としての価値を損なわず、維持管理し未来に残すための調査を予定しています。



愛媛県松山市の道後温泉本館

他にはこんな質問をしました

- 猛暑時代の熱中症対策について
- 「災害×猛暑」への備えについて
- 夏の観光対策について　ほか

詳しくは↓

自民新政会
松川（まつかわ）峰生（みねお）　議員



老木倒壊について

問 全国的に高度経済成長期に公園や街路に植えた樹木が老朽期を迎えており、老木化による、倒木や枝の落下で、人的・物的被害や死亡事故も起きている。樹木も定期的に点検し、その状態を観察し、異常があれば早めに対応が必要であると考える。本市の街路樹や公園も老朽化を迎える木が増加しているが、公園緑地課が管理している街路樹の本数は。

答 約1,300本です。

問 倒木による事故を未然に防ぐために、街路樹の定期巡回点検と街路樹に関する情報収集について、どのように実施しているのか。

答 街路樹の管理につきましては、日常の現地パトロール時に職員による目視点検を行っている状況でございます。また毎年、街路樹の剪定など季節に応じて造園業者による管理を行っており、作業終了時の確認、木の状態に異変がある場合は対応を都度協議しております。街路樹に関する、自治会や地域住民からの情報提供は、日常的な巡回では見落としがちな異常や突発的な被害を早期に把握することが可能となりますので非常に重要であり、効率的な管理と事故防止につながるものと考えております。



市内の街路樹

他にはこんな質問をしました

- スポーツ・健康まちづくり表彰について
- トイレカー導入と避難用トイレについて
- 感震ブレーカーについて

詳しくは↓

自民新政会

日名子 敦子（ひなご あつこ） 議員



南部振興（浜脇秋葉線道路整備工事）について

問 事業の進捗状況と完成予定は。

答 用地取得は約95%、10月1日から朝見川橋の全面通行止めを行い、橋の撤去工事から着手する予定です。整備完成は2032年3月を目指します。

問 通行止めの広報・周知方法は。

答 市報、市のホームページ、別府市公式のフェイスブック、LINE、インスタグラム、新聞、ケーブルテレビにてお知らせし、通行止めの予告看板の設置も進めています。通行止め初期は主要な箇所に交通誘導員を配置し通行止めの周知を図り、周辺生活道路の混雑を招かない様に努めます。

問 道路整備完了後の安全対策は。

答 現在は歩道も車線区分もない道路ですが、幅員16mの道路を整備することによって、道路の両側に歩道ができ、車道は片側1車線の道路が整備されることにより、確実に安全な通行ができると考えています。横断歩道の位置や信号機の設置、制限速度30㎞の設定など、歩行者、車両などが安全に通行できるように大分県警察と連携を図りながら安全対策を進めていきます。



令和8年10月1日より朝見川橋全面通行止
看板の設置を進めている

他にはこんな質問をしました

- 夏休み児童クラブについて
- 放課後児童クラブについて
- 旧平尾邸整備事業について
- 別府市の防災力について

詳しくは↓

弱い立場の人に政治の光を

泉（いずみ） 武弘（たけひろ） 議員



どうする、孤独死年間7万人超え

問 誰にも看取られない孤独死が年間7万人を超えている。寂しく悲しく切ない旅立ちである。市長は現状をどう受け止めているか。

答 地域のネットワークや結びつきを発揮することによって、一人で旅立たなければならない人を一人でも減らすことが私たち行政の役割であると改めて実感しました。

問 国東市、宇佐市では住民が朝起きたら軒先に黄色い旗を掲げ“今日も元気です”とメッセージを伝え地域全体で安否確認をしている。このような取組を支援してはどうか。

答 住民が自身で行う安否確認の方法として非常に有効であると考えます。今後しっかりと検討してまいります。

問 孤立・孤独死は高齢者だけの問題でなく約3分の1を50～69歳が占めている。次年度予算を計上して孤立・孤独の実態調査をするよう強く求める。介護保険給付費5年間の推移をみると、令和3年と令和7年では、要介護者440名、介護給付費は約6億円増加している。後期高齢者医療においても被保険者が1926人、医療費が約32億円増加している。福祉財源確保は市政の最重要課題だがウェルネス事業の収益見込額は。

答 公共施設の利用収入見込みが約17億円。支出総額が約10億円を見込んでおり、約7億円の黒字を見込んでいます。



宇佐市で掲げられている「黄色い旗」

他にはこんな質問をしました

- 介護人材不足について
- 障がい者を取り巻く環境について
- 別府ならではの子育てについて

詳しくは↓

日本共産党
美馬 恭子（みま きょうこ） 議員



市民アンケートから見えてきたこと

問 給食費は本年４月より公立小学校が無償化。中学校への拡充は国の動きが見えていないため、現行通りだが、独自の無償化の検討についてはどうか。また、小学校無償化による食材の質などに変化はあるか。

答 国の方針が決まり次第迅速かつ適切な対応を図りたいと考えています。国の補助制度に基づき単価や数量を適切に管理し、質・量共に満足のいく給食を提供するとともに、地元産野菜をはじめ、減農薬や無農薬など良質な食材活用にも取り組み、安全・安心・信頼される学校給食の運営に今後も努めます。

問 地元温泉の継続はどこも大変な状況。今後も共同温泉を継続させるためにも、支援・補助の拡充を考えていただきたい。

答 市内の８０カ所以上ある共同温泉に関しては、多くの市民が日常利用する浴場であり、地域のコミュニティを支える重要な場であると認識しています。現在も環境整備に関する補助金などを出しています。課題はその温泉によりそれぞれ異なります。温泉の代表者との話し合いを重ね、今後支援のあり方については考えていきたいと思っています。



レンコンのポン酢きんぴら
（クックパッドで別府市が掲載しているもの）

他にはこんな質問をしました
- 防災・避難所運営について
- 介護職場の現状について

詳しくは↓

自民新政会
阿部 真一（あべ しんいち） 議員



消防行政について

問 別府市内で、大規模災害が発生した場合、消防本部の体制はどのようになっているか。

答 大規模災害時は、水災・火災、地震等の災害規模や被害状況に応じて、警備配置・警戒配置・非常配置の３段階の体制をとります。

問 職員の招集は、勤務ローテーションや疲労軽減など考慮し、どのような招集体制か。

答 大規模災害や長時間の活動が見込まれる場合に非常招集を行い、相当規模の災害では、自発的な参集に努めます。疲労軽減のため、非直職員を優先としますが、より多くの人員の確保が必要な場合は、週休職員を招集するなど時間帯にも考慮しています。

問 消防本部・消防署本署庁舎の整備計画は。

答 昭和５４年に上野口町へ新築移転し、平成12年度に新基準適合の耐震補強を終えています。今後の庁舎整備については、訓練施設や消防車両の車庫、資機材の収納スペースの整備やバリアフリー対策等が必須であると考えています。今年度、基本的な構想に着手し、将来的な建て替え計画を進めているところです。



救急測定訓練の様子

他にはこんな質問をしました
- 建設・観光行政について
- 生活困窮者自立支援制度について
- 教育行政について

詳しくは↓



創る未来の会
中村（なかむら）　悟（さとる）　議員

小学校グラウンドの遊具について

問 学校に設置された遊具は教育的な意味がある。子どもが学校に行くことを楽しみにできる環境づくりが大切だ。安全点検による部品取り外しで使用不可になっている遊具は市内小学校でどのくらいあるか。

答 令和7年度に実施した遊具点検の結果、小学校遊具は鉄棒やブランコ等10種類17台が現在使用不可となっています。

問 使用不可となっている遊具は早い時期に安全を確保した上で再設置してほしい。

答 使用不可となった遊具は、早期の再設置に向けて学校現場と緊密に連携し、法令への適合等想定しうる課題を整理して対応します。

感震ブレーカーについて

問 感震ブレーカーは地震の揺れを感知した段階で電気を遮断し電気火災のリスクを低減することができる装置である。過去の大震災では地震による火災が大きな被害をもたらした。市内の住宅における設置率は。

答 標本調査では感震ブレーカーを設置していると回答した世帯の割合は2.5%となっています。

問 大分県は感震ブレーカーの購入・設置等の補助を開始している。この制度を活用し、別府市でも補助制度を創設してほしい。

答 今後、他の自治体の状況や国の動向を注視してまいります。



座板および吊りチェーンが取り外された小学校のブランコ

他にはこんな質問をしました

- 産後ケア事業の加算について
- 夏休み児童クラブについて
- 別府市立図書館の利用について

詳しくは↓





公明党
重松（しげまつ）　康弘（やすひろ）　議員

化学物質過敏症の理解促進と支援について

問 化学物質過敏症は周りの理解を得にくく孤立しやすい病気である。政府作成のポスター等を市役所や公共施設など、目立つ場所に掲示し周知を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 ポスターにつきましては、別府市ホームページの専用ページに掲載していますが、今後は各部署の協力を得ながら積極的に掲示してまいります。

問 障害者差別解消法に基づく合理的配慮の観点から、過敏症を抱える方が安心して過ごせるよう、市として今後の取組をどのように進めていくのか、方針を伺う。

答 別府市の『障害のある人もない人も安心して暮らせる条例』に基づき、合理的配慮を提供してまいります。また、改正法の施行を踏まえ、民間事業者へも理解促進に向けた呼びかけを行ってまいります。

問 学校現場において、香りに起因する児童生徒の体調不良に関する実態把握や対応への教育委員会の見解を伺う。

答 健康調査票等により実態把握を行い、配慮が必要な場合は、保護者と話し合いながら関係機関とも連携してまいります。



他にはこんな質問をしました

- 身寄りがない高齢者への支援体制について
- 要介護認定者の障害者控除認定制度について
- 罹災証明書の円滑な発行と市民負担の軽減

詳しくは↓



公明党
小野（おの） 佳子（けいこ） 議員



湯けむりライドシェアの利用促進について

問 湯けむりライドシェア・南部循環線は、交通不便地域の移動手段の確保を目的に令和6年度から実証運行されている。これまでの実績から、運行経路がニーズに合っているのか。また、どのように分析しているのか。

答 地域住民の意見を基に、運行の安全面を考慮して設定しました。現在の運行方法で継続し、今後利用者の意見を伺い持続可能な移動手段としていきます。

問 10月からの別府駅西口浜脇線の休止に伴い南部循環線と別府駅との接続について市の考えは。また、乗り換えなく市役所・別府市図書館へのアクセスの考えは。

答 別府駅へのアクセスについて交通事業者と協議し、市役所方面の路線バス停などへのアクセスも含め協議・検討してまいります。

問 実証運行は、実際の利用状況や市民の声を検証し、より使いやすい公共交通へ改善していくことが重要である。今後の運行経路・ダイヤの見直しや実証運行の延長、周知、利用促進についての考えは。

答 利用状況や利用者のニーズを踏まえ総合的に判断し、住民説明会やチラシ配布など、引き続き周知と利用促進に努めてまいります。



湯けむりライドシェアで使用されている車両

他にはこんな質問をしました
- シニアカー購入補助金事業について
- スパビーチの環境美化と漂着物対策について
- 命と暮らしを守る災害に強い住環境について

詳しくは↓

ビーワンべっぷ
森（もり） 裕二（ゆうじ） 議員



熱中症対策について

問 今年の夏も猛暑だったがどのような状態だったのか。

答 熱中症警戒アラートの発表回数は8月末時点で39回です。

問 学校の冷水器の設置状況と日傘・帽子は使用はできるのか。

答 冷水器は小学校3校、中学校6校の合計9校が設置しており、ほとんどの学校で日傘・帽子の使用を認めています。今後も柔軟な対策を進めてまいります。

問 熱中症一時休憩所とクーリングシェルターの違いは。

答 熱中症一時休憩所は、エアコンが効いた場所で座って休むことができ、水分補給もできる、無料の休憩施設で市内に100施設あり、クーリングシェルターは、熱中症特別警戒アラートが発令された場合に開放される施設で13施設あります。それぞれのぼり旗やポスターを設置し利用を促進しております。

問 夏季観光客対策は好調だったようだが、もっと市民や観光客に対し別府は涼しいと思わせる戦略が大事。今後の取組は。

答 まち全体で熱中症対策に取り組み、単なる暑さ対策に留まらず、選ばれる別府を目指します。

熱中症一時休憩所とクーリングシェルター

	熱中症一時休憩所	クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）
開始年度	平成26年度	令和6年度
根拠	環境基本法・第3次大分県環境基本計画	気候変動適応法
取組主体	大分県（市は施設へ協力要請）	別府市
設置要件	以下を満たしていることが望ましい。 （1）冷房設備を有している。 （2）座って休憩できるスペースがある。 （3）水分補給ができる。 （ウォーターサーバーや自動販売機の設置等）	・適当な冷房設備を有する ・熱中症特別警戒情報が発表されたときは、その期間中、施設を住民その他の者に開放することができる ・必要かつ適切な空間が確保されている ※その他、「別府市クーリングシェルター募集要項」に基づく指定要件等あり。
運用期間	熱中症救急搬送者数が多くなる6月頃から10月頃のうち、休憩所設置協力施設が対応可能な期間に柔軟に設定。	熱中症警戒アラート運用期間（4月第4水曜日～10月第4水曜日）のうち、「熱中症特別警戒情報」発表日のみ開設。 ※公表された開設可能日等において クーリングシェルターを開設しなければならない。
設置数	100か所 （公共施設、薬局、商店、コンビニ、金融機関、郵便局等）	13か所（公共施設10か所、民間施設3か所） ※すべての施設が熱中症一時休憩所と重複。
利用者数	未把握	開設の実績がないため集計実績なし。

作成者：森 裕二
出典元：令和6年大分県資料等をもとに作成

他にはこんな質問をしました
- 令和8年熊本地震について
- 教育行政について
- 一般競争入札について

詳しくは↓

有志の会
塩手（しおて） 悠太（ゆうた） 議員



新湯治・ウェルネスの研究・実践拠点施設（扇山下）について

問 新湯治・ウェルネス研究・実践拠点施設の建設が予定されている場所付近に活断層が存在する。また地震による変位地形である上に土砂浸食が起きていることが示されているが、専門的な調査を基にした建設における安全性の確保についての見解は。

答 建築基準法における法令上の指摘はないこと、候補地内に活断層が存在しないことから、断層による直接的な影響はないと考えています。また、土壌侵食等については設計施工の段階で必要な対応を講じます。

問 厳しく試算しても年間収支見込みが収入17億円、支出10億円、収益7億円であるならば、別府市は土地だけ貸して、かつ民間事業者から一定の黒字分を還元してもらう形態を選択すれば、少なくとも年間支出10億円は周辺のインフラ整備分の支出に抑制される。ローリスクローリターンのリスクの小さい事業投資になるが、別府市の温泉効能研究には大きく寄与することになると考える。このような民間の独立採算型を選択することについての見解は。

答 民間の事業性や採算性が発揮された要求水準書が市と事業共創者で策定されると考えており、収益7億円の採算性が見込めることから独立採算型の手法は考えていません。

①「扇山の活断層を示す地図」



他にはこんな質問をしました
- 公営事業局「別府競輪」
- 公民連携によるまちづくり
- 学校教育における選択肢
- 保障充実「観光福祉都市」へ持続可能な財政運営

詳しくは↓

自民新政会
吉冨（よしとみ） 英三郎（えいざぶろう） 議員



固定資産税の徴収などについて

問 路線価の発表があったが、商業地・住宅地ともに地価が大幅に上昇しており、商業者をはじめ多くの市民が固定資産税が上がるのではないかと、心配している。また、空き家・所有者不明土地などの課税徴収が適正になされているのか伺う。

答 特定空家等に認定した70件のうち10件に勧告を出し9件が家屋の解体に至っております。また、固定資産税の納税も適正に行われております。

問 新湯治・ウェルネスの拠点施設となる土地は賃貸借にするとのことだが、普通の取引などでは原野は二束三文の取引となる事が多い。市が道路を作り、温泉を用意する。商業地域と同等でもおかしくない地代で貸すべきと考えるが当局の見解を伺う。

答 現在のまま地代を想定しているわけではありません。現状から道路や水道などインフラ等を整備した土地評価の地代を基に民間事業者協議を重ねてまいります。



『特定空家』：そのまま放置すれば、倒壊や著しく衛生上有害となる恐れもある空き家など。

他にはこんな質問をしました
- 中心街・商業地の事業者への配慮について
- 住宅地・住民への影響について

詳しくは↓

市民クラブ

森山 義治（もりやま よしはる） 議員



公共ライドシェアについて

問 国が認可しているライドシェアは公共ライドシェアと日本版ライドシェアの2種類がある。現在、第1種運転免許のドライバーが南部地域と関の江循環線を公共ライドシェアとして定時定路線で運行している。令和7年度の1便当たりの平均利用者数と運賃収入について伺う。

答 南部循環線は1便当たり、1.9人、年間の運賃収入は1,314,050円、関の江循環線は、令和7年8月から令和8年7月までの1便当たりの平均利用者数が1.63人、年間の運賃収入は2,343,870円となっています。

問 運行期間は違うが2地域とも1便当たりの平均利用者数が2人にも満たない。令和7年度の一般会計歳出歳入決算によると、33,416,801円の費用に対し、1年間の運賃収入が3,059,260円を鑑みた場合、予約制の運行方式に改善すると更に効果が上がると考えるが、どのような議論や意見集約で延長になったのか伺う。

答 地元のアンケート調査や意見交換などにより地域の要望に沿った運行方式としているが、新たな移動手段を排除することなく、沿線住民のニーズに寄り添える移動手段としたいと考えています。



他にはこんな質問をしました

- パークアンドライドについて
- 朝日大平山ひと・まち支え合い交通について
- 住宅確保要配慮者の居住支援について
- 個人で備える防災グッズについて

詳しくは↓

自民新政会

谷口 和美（たにぐち かずみ） 議員



主体性と当事者性を大切にする教育について

問 不登校になった子供の支援と、子供が学校に居場所を失わない教育をつくること。その両方を進めることが、これからの学校教育には必要である。工藤勇一氏の教育改革の手段である宿題の廃止、定期テスト実施の見直し、ルールや校則の見直し、固定担任制の廃止などについて、自治体をあげて、地域性に合わせながら、取り入れている学校がある。既に導入している学校の成果や課題を調査研究しその結果を踏まえて、別府市内の学校への導入を検討する考えがあるか。

答 まずは、先行して取り組まれている自治体の具体的な成果や課題について調査・研究をしてまいります。

ひとり親世帯の支援について

問 子育て世帯訪問支援事業についてひとり親家庭を対象とした利用料の減免はできないか。

答 国の制度上、ひとり親家庭を対象とした利用料の減免区分は設けられておりませんが、課税世帯についても所得に応じて2段階の区分となっております。また費用負担が困難な場合には、支援の必要性に応じて市が措置により支援を行うことも可能となっております。



他にはこんな質問をしました

- 学校に行きづらい児童生徒の支援について

詳しくは↓

令和８年度

常任委員会視察

常任委員会では、所管している分野に関する知識を深め、さらなる調査を進めるため、
他自治体等の取組について、行政視察を行っています。

総務企画消防委員会

令和8年5月13日(水)～15日(金)

- AIデマンドバス「まつえのるーと」について ……【島根県松江市】
- DX推進リーダーの育成について ……【島根県安来市】
- 出雲市文化財保存活用地域計画について ……【島根県出雲市】



安来市での視察の様子



出雲市での視察の様子

観光建設水道委員会

令和8年5月12日(火)～14日(木)

- まるサテ事業について …… キャップクラウド株式会社【山梨県富士吉田市】
- 甲府市のまちづくりの取組について … 合同会社まちづくり甲府【山梨県甲府市】



甲府商工会議所にて



キャップクラウド株式会社での視察の様子

厚生環境教育委員会

令和8年5月11日(月)～13日(水)

- 不登校児童生徒への支援について ……【岡山県岡山市】
- 教育文化施設(文化財)について ……【岡山県岡山市】
- 北九州市立子育てふれあい交流プラザの取組について ……【福岡県北九州市】



北九州市での視察の様子



岡山市での視察の様子

市内高校生に向け主権者教育企画を開催しました!!

議会×選管

BEPPU未来を担う高校生シティズンシップ講座

7月13日（月）、本会議場、全員協議会室にて、別府翔青高校、明豊高校にご協力いただき、「議会×選管　BEPPU未来を担う高校生シティズンシップ講座」と題し、高校生に向けた主権者教育を開催しました。

今回は、別府市選挙管理委員会と合同で開催する初の試みで、前半部分は選挙管理委員会により、模擬選挙を行うなど、選挙制度の説明があり、後半部分は別府市議会より、議会制度の説明と、議員と高校生との議会広報に関する意見交換会を行いました。

意見交換会を終え、高校生からは、「実際に議員に会ってみて、人となりが分かると親近感が湧き、議会に対する関心が高まった」といった感想をいただきました。引き続き市民に開かれた議会の実現に向けて、取り組んでまいります。









TOPICS

第79回大分県民スポーツ大会で別府市議会が優勝しました!

9月13日（日）にクラサスドーム大分にて開催された第79回大分県民スポーツ大会の陸上競技「議員・教委4×100mリレー」に別府市議会の4人の議員が出場し、昨年に続き優勝し、連覇を成し遂げました!

【写真左から】
森 裕二議員、石田 強議員、
中村 悟議員、塩手 悠太議員



べっぷ火の海まつり納涼音頭大会に参加しました

7月26日（日）



請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問合せください。

なお、令和８年第４回定例会の請願の受付期限は11月20日（金）17時までです。

令和8年 熊本地震に係る義援金を寄付いたしました

この度の熊本地震で被災された方々への支援を目的として、別府市議会より義援金を寄付しました。

被災地の復旧・復興の一助となることを願うと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

No.184　令和8年11月1日　　編集：広報広聴委員会　　発行：別府市議会

〒874-8511　別府市上野口町1-15　TEL 0977-21-1547
メール sec-cc@city.beppu.lg.jp　ホームページ https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/